

2024年度 事業所における自己評価（児童発達支援事業）

公表日：2025年3月31日

よこはま発達サポートルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や今後の取り組み
環境・体制整備	1	子どもたちがわかりやすい（取り組みやすい）活動の場所になっているか	100%	0%	個々の特性や状態に応じて活動の空間を調整しています。お子様たちが活動と場所の意味を直感的に理解しやすいように工夫しています。お子様は日々成長いたしますし、状態も日々変化します。常にそれらを評価・把握、その時その時適切に対応できるよう引き続きと努めてまいりたいと思います。
	2	安全かつ衛生的な活動の場所であるか	100%	0%	セッション前後で清掃を行っています。ただ補修が必要な箇所等が生じるときもありますので、適宜安全・衛生的な環境を維持できるよう対応していきたいと思います。なお、カラーボックスが不安定に感じるとのご指摘もいただきました。軽いもののしか入れていないためだと思いますので、下段に重しを入れるなど工夫をしてみようと思います。
	3	子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	事業所内に、保護者様用の観察のためのスペースと、お子様たちの活動のスペースがあります。またお子様たちの活動のスペース内に、一人で課題に取り組むエリア、先生と1対1で新しいことに取り組んだりコミュニケーションの練習をするエリア、余暇のエリア（新しい余暇を探したり、活動の切り替えの工夫の仕方などを見つける）などを設置しているため、基準は十分にクリアしていますが、どうしても手狭になってしまっています。お子様たちの動線や、お子様同士で共有できる部分がないのかなど工夫を、常に心がけたいと思います。
	4	職員の人数や専門性は適切であるか	50%	50%	有資格の専門職員で構成され、子どもの最大人数4名に対し、職員を3名に加え、保護者対応の職員を配置しています。ただ職員の体調不良等の緊急時等では、親子での通所を基本としていますので、十分に手が回らない時があります。更なる職員の教育、拡充を図ってまいりたいと思っています。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	100%	0%	活動に応じて、スペースを柔軟に使えるようになっています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%	毎日の活動後に、その日の評価に基づいたカンファレンスを行い、次回どのような工夫をするのか、そのための準備は何をするのかを検討しています。また、加えて週に1回ミーティングを行い現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	100%	0%	頂いた意見に基づいて早速取り組みをしています。またよりご意見を出していただきやすくするため、より円滑なコミュニケーションをはかれるようにするための工夫もしていきたいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	100%	0%	職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげていますが、さらに改善できるよう、グループ内のバックアップも得ながら、より効率的に業務を行い、療育活動により多くのエフォートを向けられるようにしていきたいと思っています。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	100%	0%	日々、個々の事例については相談できる体制があります。また月に1度のケースカンファレンス、および月に1度の研修の場を、グループ内で協力して確保しています。さらに外部の研修にも法人からの補助を活用して参加しています。事業所内で伝達研修の時間も設けて、その内容を職員間で共有しています。

適切な支援の提供	10	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援を提供しているか	100%	0%	利用開始時には必ずアセスメントや保護者さんとの面談を行い、課題を設定しています。療育活動中には一つ一つの課題、一つ一つの場面に対してアセスメント記録を取り、活動終了後に検証、次への修正・改善点などを明らかにしています。それらに基づき、月に1回は定期的面談の機会を設けております。その他、適宜ご相談いただけるようにはしております。
	11	一人ひとりに合わせた療育プログラムを提供しているか	100%	0%	訪問先の先生方とはなるべくコミュニケーションを取るようにして、訪問先の理念や状況等を把握し、その中で可能と思われる具体的な取り組みと一緒に検討できるようにしています。
	12	活動が固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	個々にフォーマル・インフォーマルな評価を実施し、お子様やご家庭のニーズなどを把握した上で、課題設定・活動の設定をしています。新奇に対する期待感と不安感があるお子様が大半ですので、バランスを考えながら取り組んでいます。
	13	関わる職員みなで、それぞれの子どもたちのことを把握・理解しているか	100%	0%	毎日、療育活動の前後にミーティングを実施しています。また週に1回のミーティング、月に1回、グループ内の他の臨床職員も入って取り組みの検討を行っています。これらを通じて、すべての職員がすべてのお子様・ご家族のことを把握できるよう努めています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	100%	0%	療育活動前に必ず打合せを実施しています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	療育活動中には常にアセスメント記録を取り、終了後には必ずミーティングを実施しています。
	16	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	療育活動中には一つ一つの課題、一つ一つの場面に対してアセスメント記録を取り、活動終了後に検証、次への修正・改善点などを明らかにしています。
	17	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	100%	0%	概ね6ヵ月に1度の大きな支援計画の見直しを行っております。また日々の課題設定は日々の評価に基づき修正・変更しています。
	18	定期的にコンサルタントを利用し、スーパーバイズや助言等を受けているか	100%	0%	グループ内部の職員と日常的に相談したり、情報共有をしています。また月に1回、グループ内の臨床職員全員が集まり、ケース検討を行っています。そのほか、月に1回、外部からのコンサルタントに入ってください助言を得ています。
関係機関や保護者との連携	19	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	100%	0%	協力医療機関であるよこはま発達クリニックやその他の外部の関係機関と、情報共有や保育所訪問などを活用し、連携体制を組めるよう努めています。通所している多くのお子様は特によこはま発達グループ内の他のサービスも利用しており、これらの機関とは日常的にやり取りしています。
	20	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	保育所訪問や保護者を通して、幼稚園や保育園等での取り組みの情報を得たり、サポートルームでの支援内容を幼稚園・保育園等にお伝えしています。療育内容も家庭、幼稚園・保育園等への汎化を目指したもので、ソーシャルインクルージョンを目指した取り組みです。療育活動で見つけたアイディアを家庭や園、そのほか地域活動にご活用いただけたらと思っています。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0%	100%	進学するお子様がまだあまりおらず、現在徐々に出てきている状態です。学校への訪問のご要望なども頂いておりますので、今後、小学校等への移行をサポートし、より円滑に学校生活をスタートできるよう、そしてその後もフォローアップできるような体制作りをしていきたいと思っています。
	22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	日々の連絡アプリケーションのほか、親子通所をしてもらっているため、毎回活動の様子をフィードバックしたり、相談をしています。今後はさらにご家族のニーズやお気持ちを積極的に汲めるよう工夫していきたいと思っています。
	23	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	100%	0%	療育の基本的考えが、お子様個々人の強みや特性を尊重し、それを家庭や地域生活に汎化できるようにしていくことです。そのために、親子通所をしていただき、そのアイディアを共有したり、ご相談に応じております。また必要な方は、家庭で活用できる支援グッズの作成なども職員と一緒にしております。さらにグループ内の機関とも連携し、希望者には教育や相談の講座を受講できるようにしています。

保護者への説明等	24	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	見学・契約時に書面を用いて説明を行っております。ただ、お子様たちはどんどん成長していきますし、Plan - Do - Check - Actionと毎回のセッションごとに改正する部分が出てきますので、常に取り組みが変化していきます。日々の細かい部分は口頭での説明が多かったようにも思います。職員の方では、毎回、評価し、次の工夫を計画し、書面に残しています。支援計画のみならず、日々の取り組みにおける工夫も含め、よりご覧いただき、共有できるような形を検討したいと思います。
	25	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援を行っているか	100%	0%	訪問時にパンフレットをお渡ししたり、連絡先を交換し、必要時にはご連絡をいただけるようにしています。引き続き、ご家庭のみならず、訪問先の園等に対しても、お役に立つよう努めたいと思います。
	26	子どもや保護者からの相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	その都度迅速に対応できるよう努めています。
	27	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	連絡のためのアプリケーションを活用しています。また親子通所のため、お子様のみならず、保護者様とも日常顔を合わせ、お話する機会があります。その他、個別の定期面談が設定されています。今度も職員間や関係機関との情報共有も深める中で、よりニーズやお気持ちを汲めるように取り組みたいと思っています。
	28	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	十分に気を付けて取り扱いをしています。これまで特に問題となったことはありません。
非常時等の対応	29	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知・説明しているか	100%	0%	訪問先の先生方とはなるべくコミュニケーションを取るようにして、訪問先の理念や状況等を把握し、その中で可能と思われる具体的な取り組みと一緒に検討できるようにしています。
	30	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	BCPに沿った研修を実施しています。
	31	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	100%	0%	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修を行っています。
	32	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%	0%	毎日の振り返りで、ヒヤリハットについて職員で共有しています。
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	虐待防止についての研修を実施しています。